



平成21年5月期第2四半期決算説明会

大証2部 6496



株式会社 中北製作所

<http://www.nakakita-s.co.jp>

平成21年2月2日 大阪
平成21年2月5日 東京



- ・会社概要
- ・平成20年11月中間期実績
- ・平成21年5月期見通し
- ・今後の展望
- ・コーポレートデータ



. 会社概要

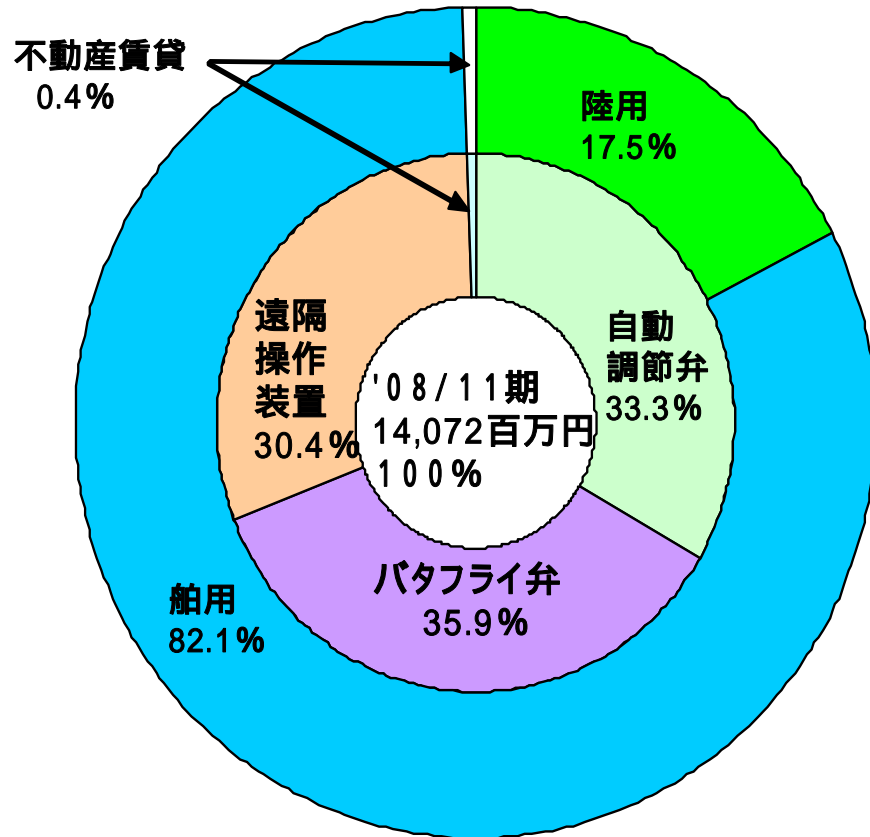
1.概要



会社名	株式会社中北製作所
代表者	中北 健一
所在地	大阪府大東市
設 立	1937年5月
資本金	1,150百万円
事業内容	自動調節弁・バタフライ弁・遠隔操作装置製造
従業員数	302名(2008年11月末現在)

2. 事業内容

当社は船舶や原子力・火力発電等の陸上プラント向けに、流体の自動制御システムとして下記の品種を全品受注生産により供給している



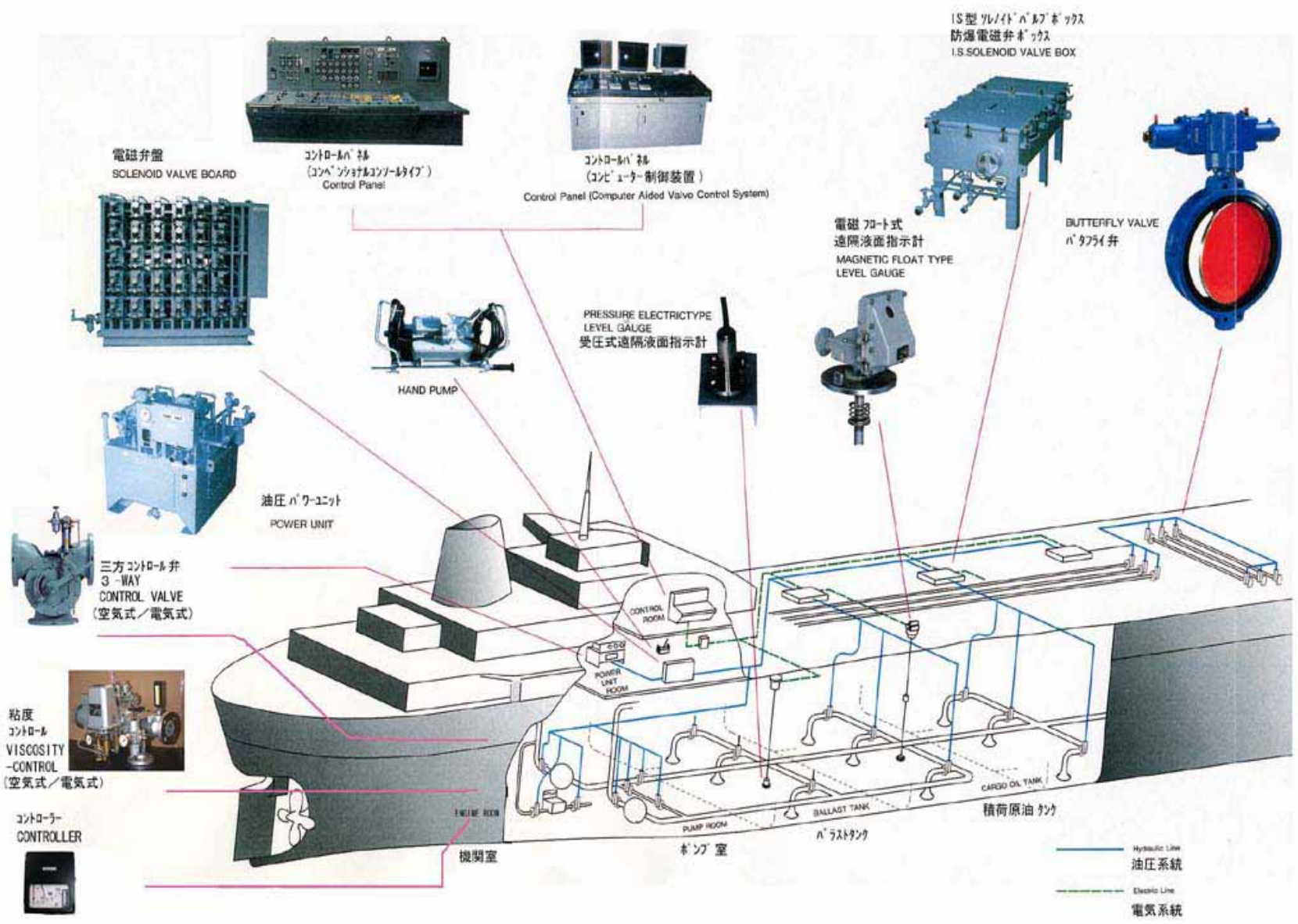
品種別用途

陸船別	用途		品種		
			自動調節弁	バタフライ弁	遠隔操作装置
船舶	カーゴライン	タンカー			
	バラストライン	全船種			
	機関室	全船種			
陸用	発電プラント	火力発電 原子力発電 ガスタービン発電			
	製鉄プラント				
	造水プラント				
	その他				



3.製品

船用荷役及びバラスト遠隔操作(バタフライ弁・遠隔操作装置・液面計)



4. 世界的な競合と差別化策

**バタフライ弁、遠隔操作装置、機関室用調節弁を一括製造している唯一のメーカー
品質の信頼性ときめ細かなアフタサービス体制**

質・量ともに客先の注文に応えうる生産体制

船主の細かい注文にも対応

	当社	アムリー	ダンフォス	キーストン	エースバルブ	アモット
	日本	フランス	デンマーク / 韓国	韓国	韓国	イギリス
遠隔操作装置						
バタフライ弁 (カーゴ/バラスト)						
自動調節弁						
LNGバタフライ弁						



. 平成20年11月中間期実績



1. 概要

単位: 百万円(百万円以下切捨て)、%、円

	07/11	08/11	前年同期比		08/11 期初計画	期初計画比	
			増減	伸率		増減	伸率
			売上高	12,340		14,072	1,732
営業利益	1,340	1,396	56	4.2	1,110	286	25.8
経常利益	1,351	1,396	44	3.3	1,125	271	24.1
中間純利益	779	496	283	36.3	650	154	23.7
一株当り中間純利益	40.7		25.9			33.9	
一株当り配当金	15.0		15.0			15.0	
総資産	23,649		24,579				
株主資本	15,722		16,126				

売上は船用中心に引き続き好調。

設備投資関係費用の増加と新NAPS導入当初の効率悪化を、売上増加で吸収し、営業利益・経常利益とも前年を上回った。

2. 生産・受注・受注残の推移

生産 単位: 百万円

	07/11	08/11	前年同期比	
			増減	伸率
			自動調節弁	4,835
バタフライ弁	3,807	5,067	1,259	33.1
遠隔操作装置	3,608	4,275	667	18.5
生産高合計	12,250	14,036	1,786	14.6

受注高

	07/11	08/11	前年同期比	
			増減	伸率
			自動調節弁	5,561
バタフライ弁	5,873	5,438	435	7.4
遠隔操作装置	5,626	4,288	1,339	23.8
受注高合計	17,060	14,801	2,259	13.2

受注残

	07/11	08/11	前年同期比	
			増減	伸率
			自動調節弁	6,156
バタフライ弁	11,636	11,875	240	2.1
遠隔操作装置	10,078	9,852	-226	2.2
受注残合計	27,869	28,264	394	1.4

生産(前年同期比14.6%増)
設備投資効果もあり生産力が伸びてきている。

受注高(同13.2%減)
極端に高水準であった前年比ではマイナスであるが、依然として生産高を上回る高水準の受注を獲得。

受注残(同1.4%増)
好調な受注を反映し、受注残増加。遠隔操作装置は前年同期を下回ってはいるが、生産能力の1.2年分に相当。



3.部門別売上高

単位：百万円、%

	07/11	08/11	増減	伸率	構成比
自動調節弁	4,850	4,680	-171	-3.5	33.3
バタフライ弁	3,806	5,058	1,252	32.9	35.9
遠隔操作装置	3,622	4,273	651	18.0	30.4
不動産賃貸収入	62	62	-0	-0.5	0.4
売上高・営業収益	12,341	14,072	1,732	14.0	100.0

単位：百万円、%

	07/11	構成比	08/11	増減	伸率	構成比
陸用	2,795	21.6	2,464	-331	-11.8	17.5
船用	9,484	77.7	11,547	2,063	21.7	82.1
その他	62	0.7	62	-0	-0.6	0.4
合計	12,341	100.0	14,072	1,731	14.0	100.0

タンカー向けの増加でバタフライ弁と遠隔操作装置が大幅増加した反面、陸用の自動調節弁が減少。



4. 地域別売上高

単位: 百万円 %

	07/11	08/11	08/11		
			増減	伸率	構成比
国内	8,981	9,275	294	3.3	65.9
韓国	1,853	2,856	1,003	54.1	20.3
中国(香港)	1,297	1,816	519	40.0	12.9
その他	210	126	84	40.2	0.9
輸出(含国内商社経由)	3,360	4,798	1,438	42.8	34.1
合計	12,341	14,072	1,731	14.0	100.0
輸出比率	27.2	34.1			

輸出が大きく伸び、輸出比率が34%に上昇
国内向けも船用中心に増加



5. 損益計算書

単位:百万円、%

	07/11		08/11			
		構成比		増減	伸率	構成比
売上高	12,341	100.0	14,072	1,732	14.0	100.0
売上原価	10,007	81.1	11,561	1,554	15.5	82.2
売上総利益	2,334	18.9	2,511	177	7.6	17.8
販売費・一般管理費	994	8.1	1,115	121	12.2	7.9
営業利益	1,340	10.9	1,396	56	4.2	9.9
営業外損益	11	0.1	-1	12	-	-0.0
経常利益	1,351	10.9	1,396	44	3.3	9.9
特別損益	3	-0.0	533	530	-	4
税引前中間純利益	1,348	10.9	863	486	36.0	6.1
法人税等	568	4.6	366	202	35.5	2.6
中間純利益	780	6.3	496	284	36.4	3.5

設備投資関係の経費増と新NAPS導入当初の効率低下を売上増加でカバー。
営業利益、経常利益とも前年比増益を確保。

有価証券評価損により中間純利益は前年比284百万円の減少。

6. 貸借対照表

	08/5	08/11	増減	主要増減要因
流動資産合計	17,996	18,812	816	
現金・預金	2,611	2,102	509	
売上債権	11,023	11,820	797	売上増+13億、回転期間短縮-5億
棚卸資産	3,447	4,037	590	売上増+4億、回転期間増+2億
その他	916	853	62	
固定資産合計	6,189	5,767	422	
有形固定資産	3,377	3,593	216	設備投資468百万円
無形固定資産	279	323	44	
投資・その他の資産	2,532	1,852	680	
(内投資有価証券)	1,937	1,129	808	評価減
資産合計	24,184	24,580	396	
流動負債合計	7,456	7,900	444	
支払手形・買掛金	4,378	4,135	243	
短期借入金	1,870	2,570	700	
その他	1,207	1,195	12	
固定負債合計	678	583	95	
負債合計	8,134	8,483	349	
資本合計	16,051	16,096	45	配当-288、利益+496、評価差額-163
負債・資産合計	24,184	24,580	396	



. 平成21年5月期通期見通し



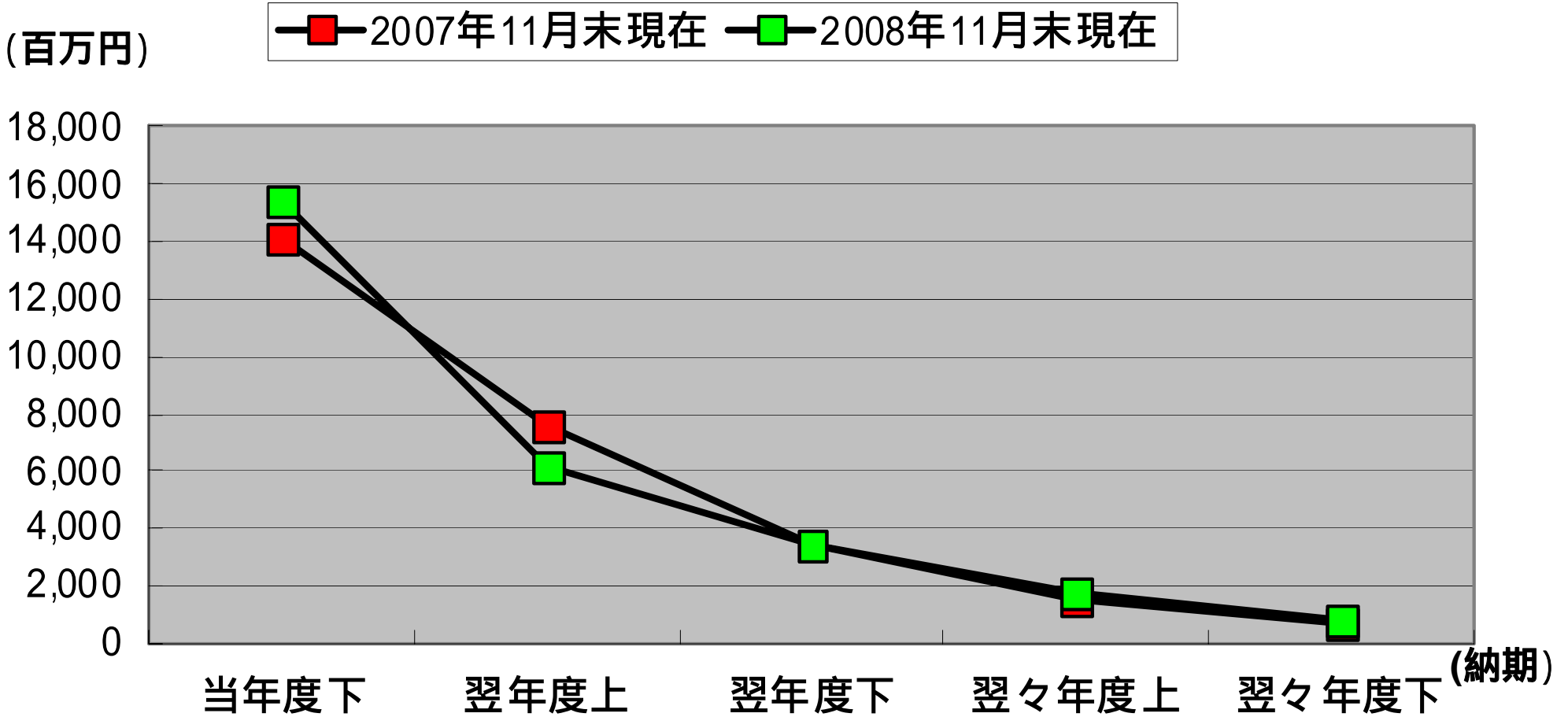
1. 概要

単位: 百万円(百万円以下切捨て)、%、円

	08/5	09/5E	前年同期比		期初計画
			増減	伸率	
売上高	25,235	27,500	2,265	9.0	26,500
営業利益	2,394	2,700	306	12.8	2,220
経常利益	2,424	2,700	276	11.4	2,250
当期純利益	1,262	1,235	27	2.1	1,300
一株当り利益	65.9		64.5		67.8
一株当り配当金	30.0		30.0		30.0

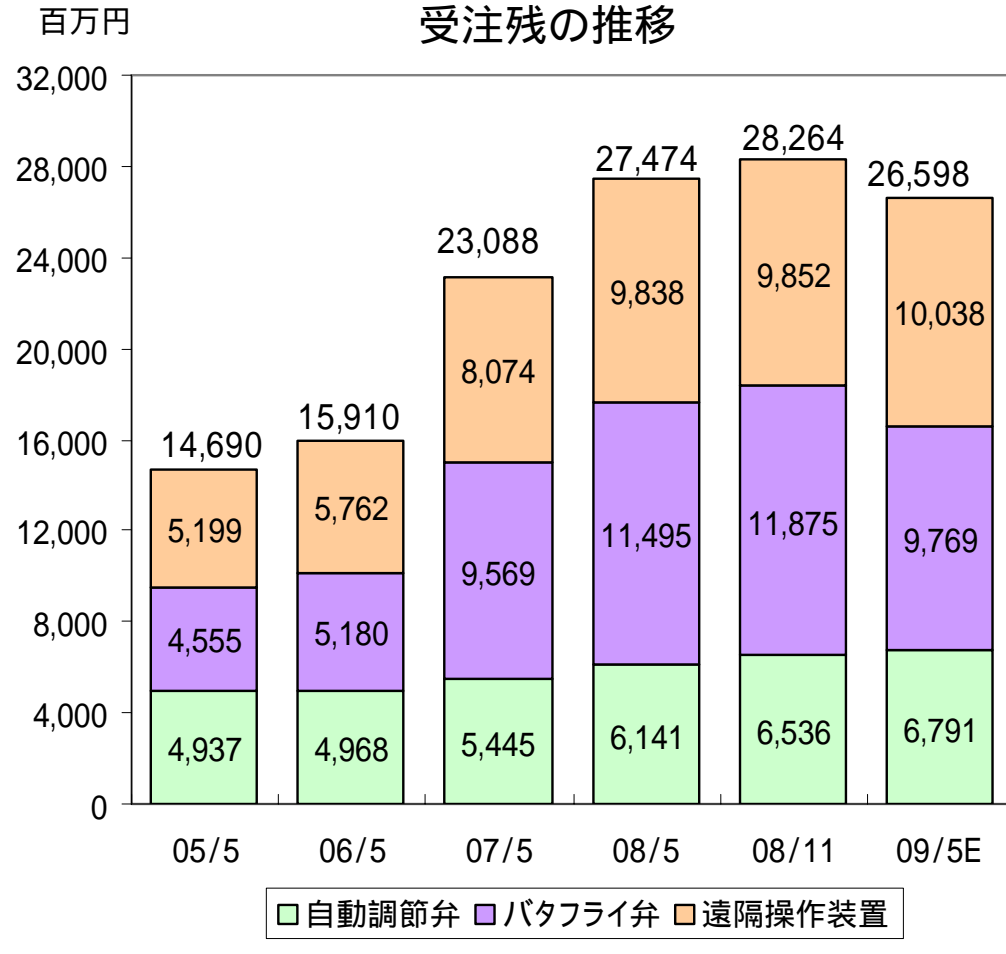
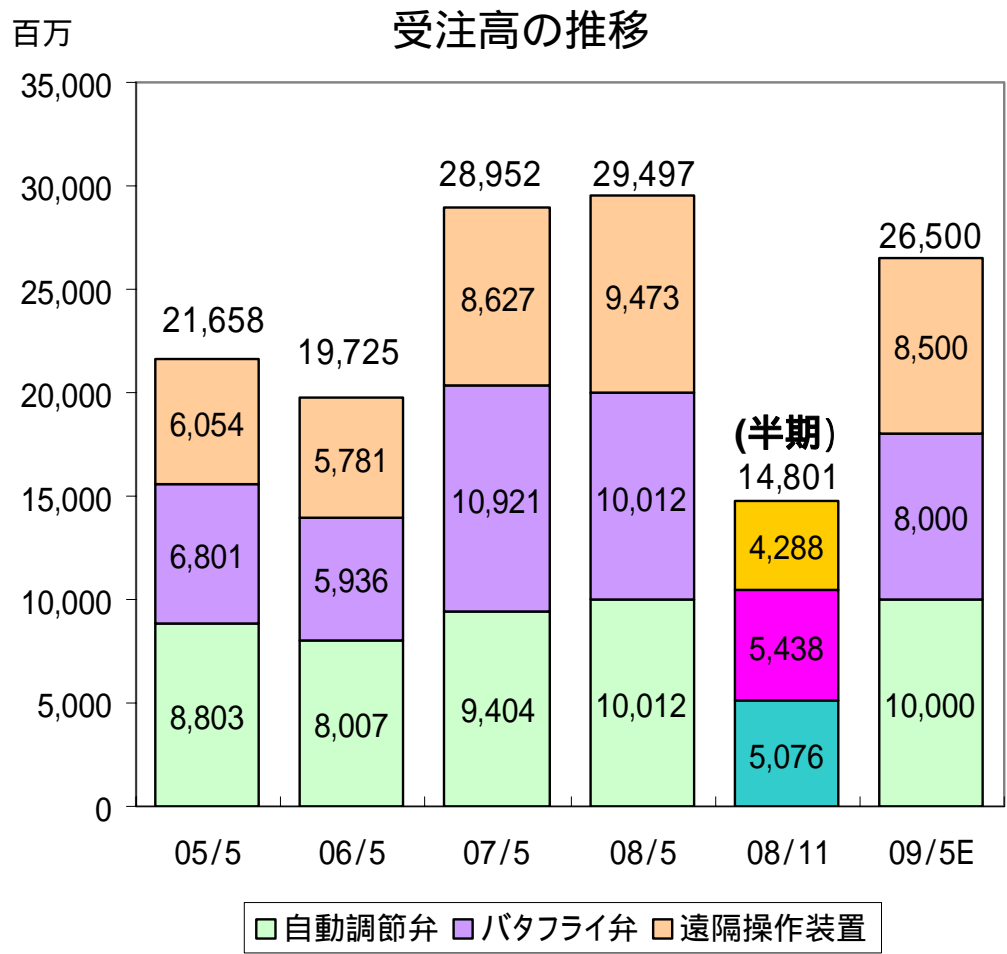
受注残消化のため増産体制が進み、売上は9%営業利益は13%程度アップと予想。
有価証券評価損により純利益は2%程度減益と予想。

2. 納期別受注残高前年比較



当年度下期納期受注残は十分に積みあがっている
 翌年度以降納期受注残も前年比大きな遜色はない

3. 受注・受注残の見通し



**需要は引き続き旺盛であり、上期受注高は148億円を獲得。
下期はやや減速し通期265億円を見込む。**



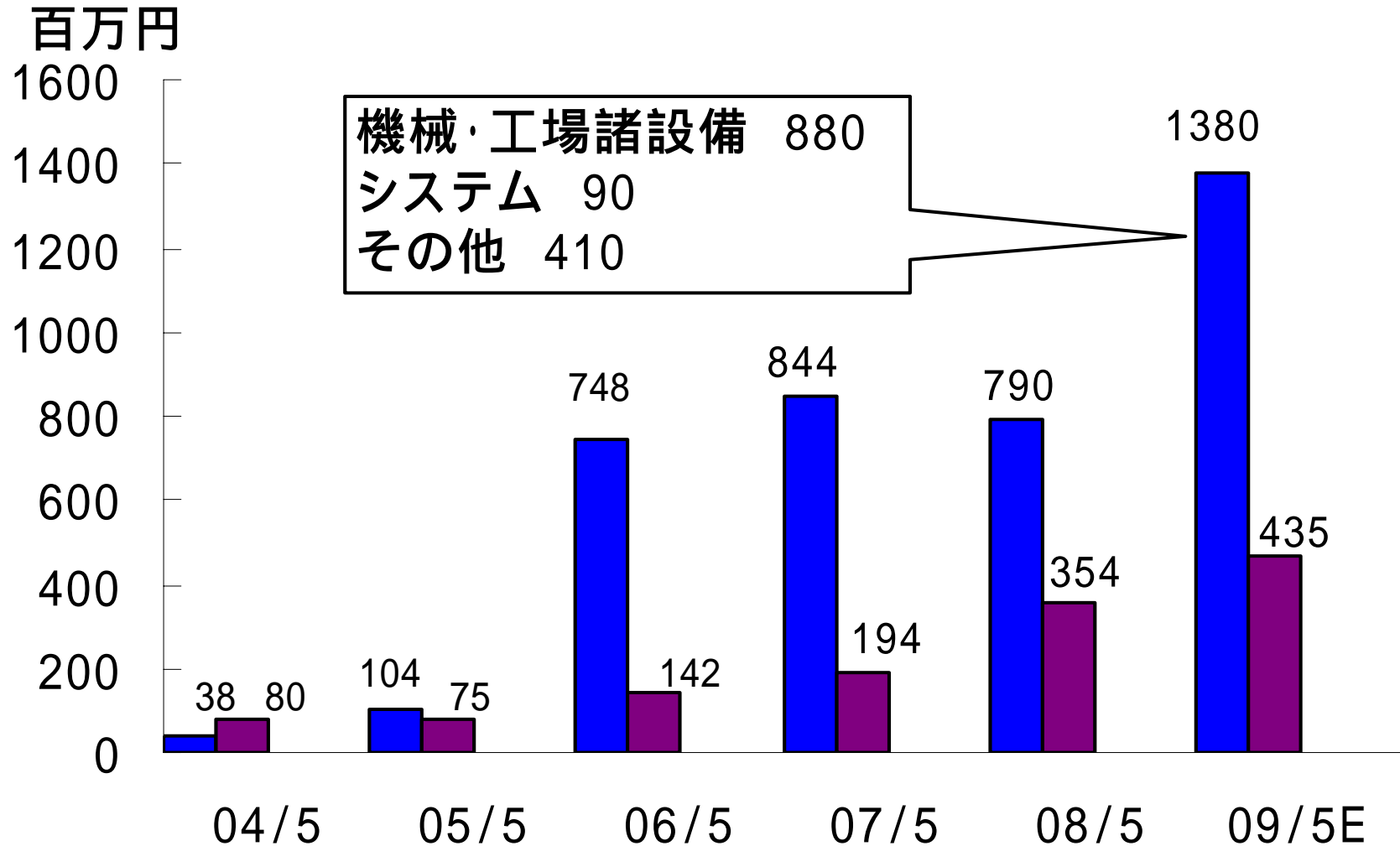
4. 損益計算書

単位:百万円、%

	08/5		09/5E				期初計画
		構成比		増減	伸率	構成比	
売上高	25,235	100.0	27,500	2,265	9.0	100.0	26,500
売上原価	20,802	82.4	22,600	1,798	8.6	82.2	22,080
売上総利益	4,433	17.6	4,900	467	10.5	17.8	4,420
販売費・一般管理費	2,039	8.1	2,200	161	7.9	8.0	2,200
営業利益	2,394	9.5	2,700	306	12.8	9.8	2,220
営業外損益	30	0.1	0	30	-	0.0	30
経常利益	2,424	9.6	2,700	276	11.4	9.8	2,250
特別損益	229	-0.9	550	321	-	2	0
税引前当期純利益	2,195	8.7	2,150	45	2.1	7.8	2,250
法人税等	933	3.7	915	18	1.9	3.3	950
当期純利益	1,262	5.0	1,235	27	2.1	4.5	1,300

売上は上期140億円に対し営業日数の関係で下期135億円を見込んでいる。
利益率はほぼ上期並みを予想。

5. 設備投資と減価償却費の見通し



工場棟と立体駐車場の新設約7.5億円は4月竣工予定。
 4年間に亘る大きな設備投資は今期で一段落の予定。



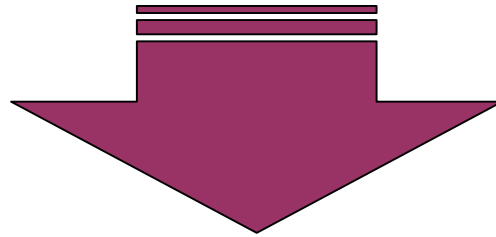
. 今後の展望

1. '09/5期の経営課題と戦略

08/11期の経営トピックス

新NAPSの本格運用開始

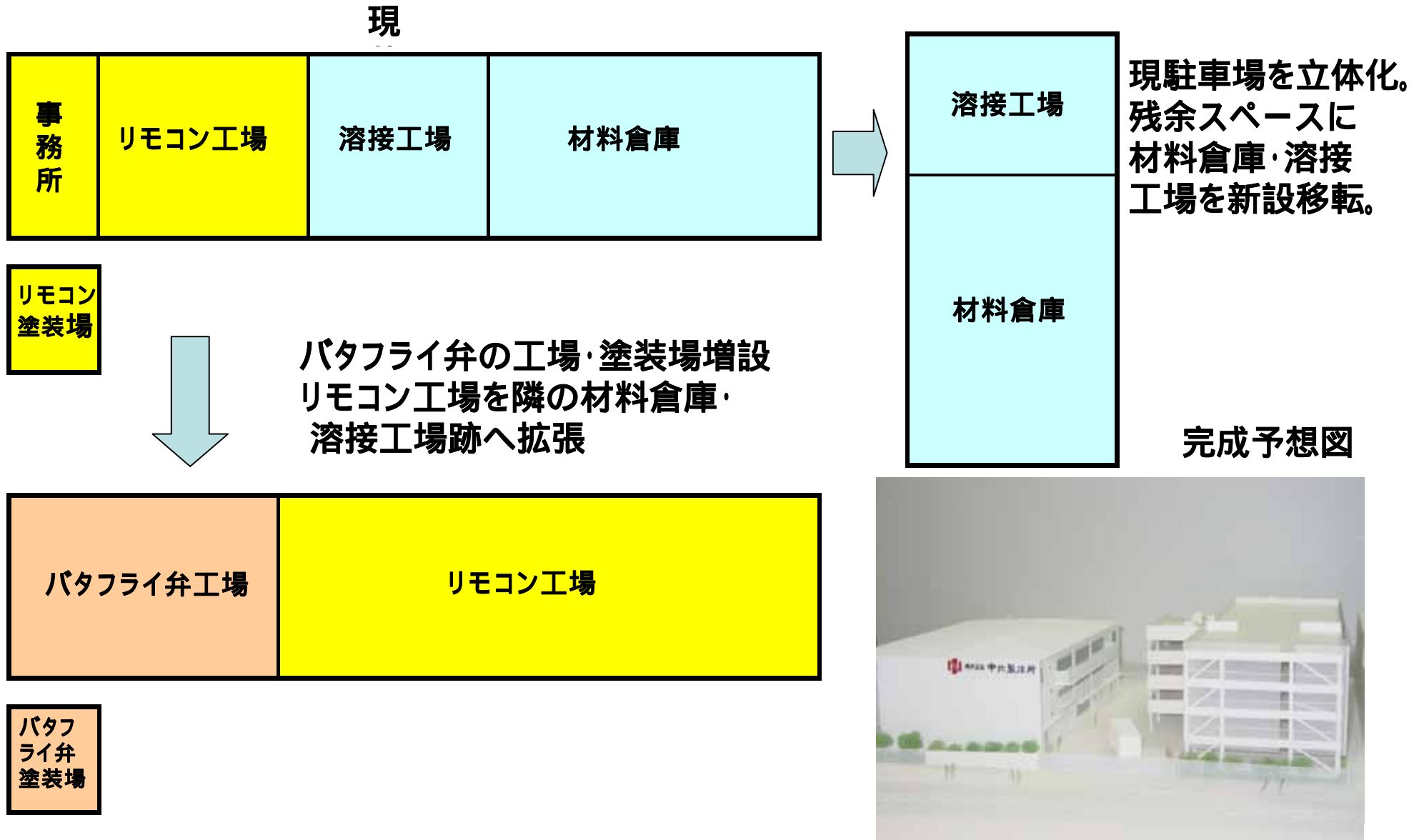
- … 当初は不慣れ、不具合等の影響で効率低下
- … 第2四半期に入り収束に向かっている



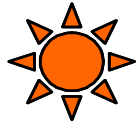
09/5期のテーマ進捗状況

- … 生産効率改善 (新NAPS導入当初の効率低下は収束に向かっている)
(当初目的の効率改善効果も徐々に出つつある)
- … 設備増強 (リモコン工場拡張5月完成予定)

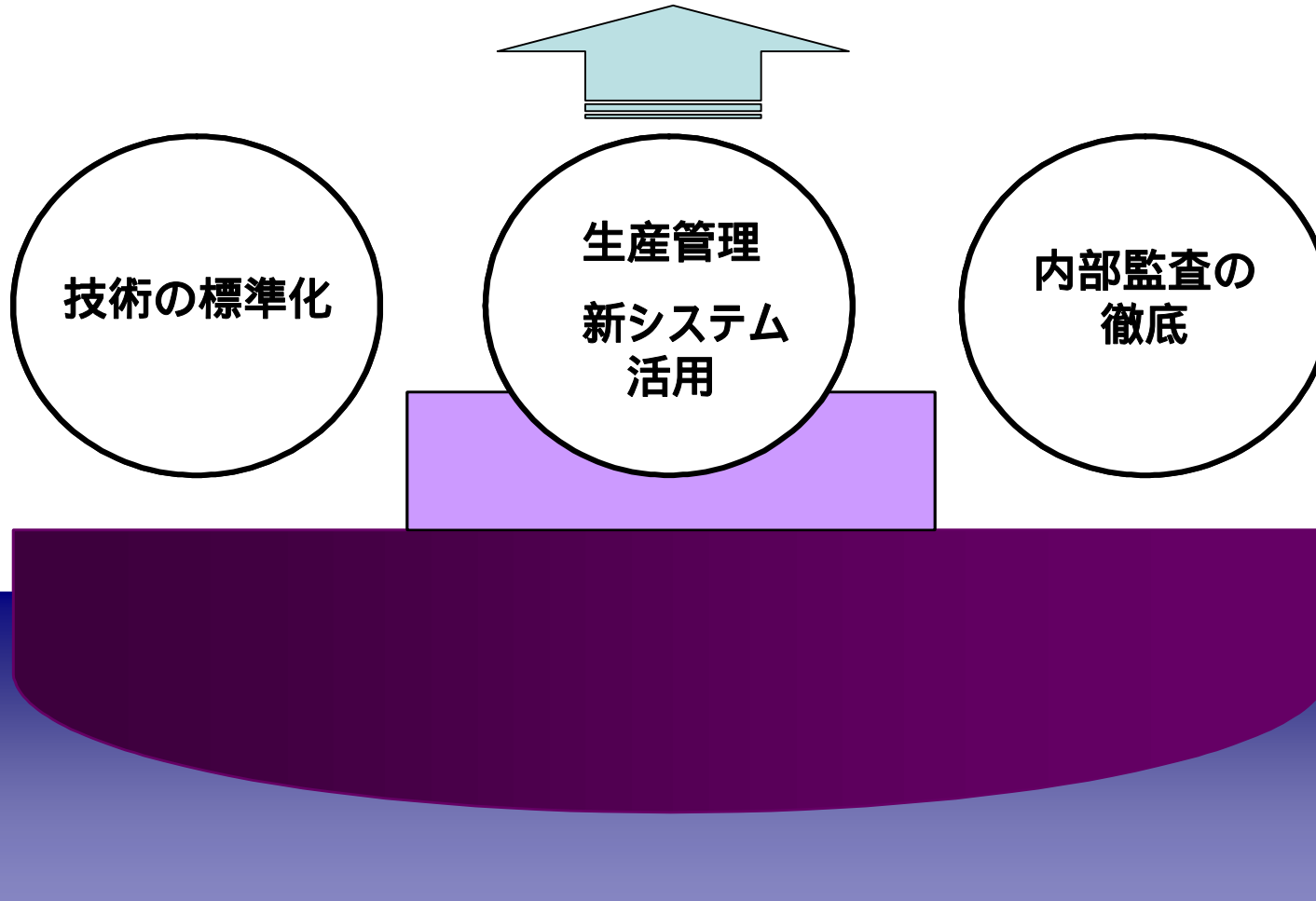
2. 設備投資(工場レイアウト変更と工場棟新設)



3. 課題への取り組み



高水準の受注残に対応した生産効率化と
信頼される高品質なもの作りを目指す！





4. 生産管理新システム(新NAPS)の運用開始

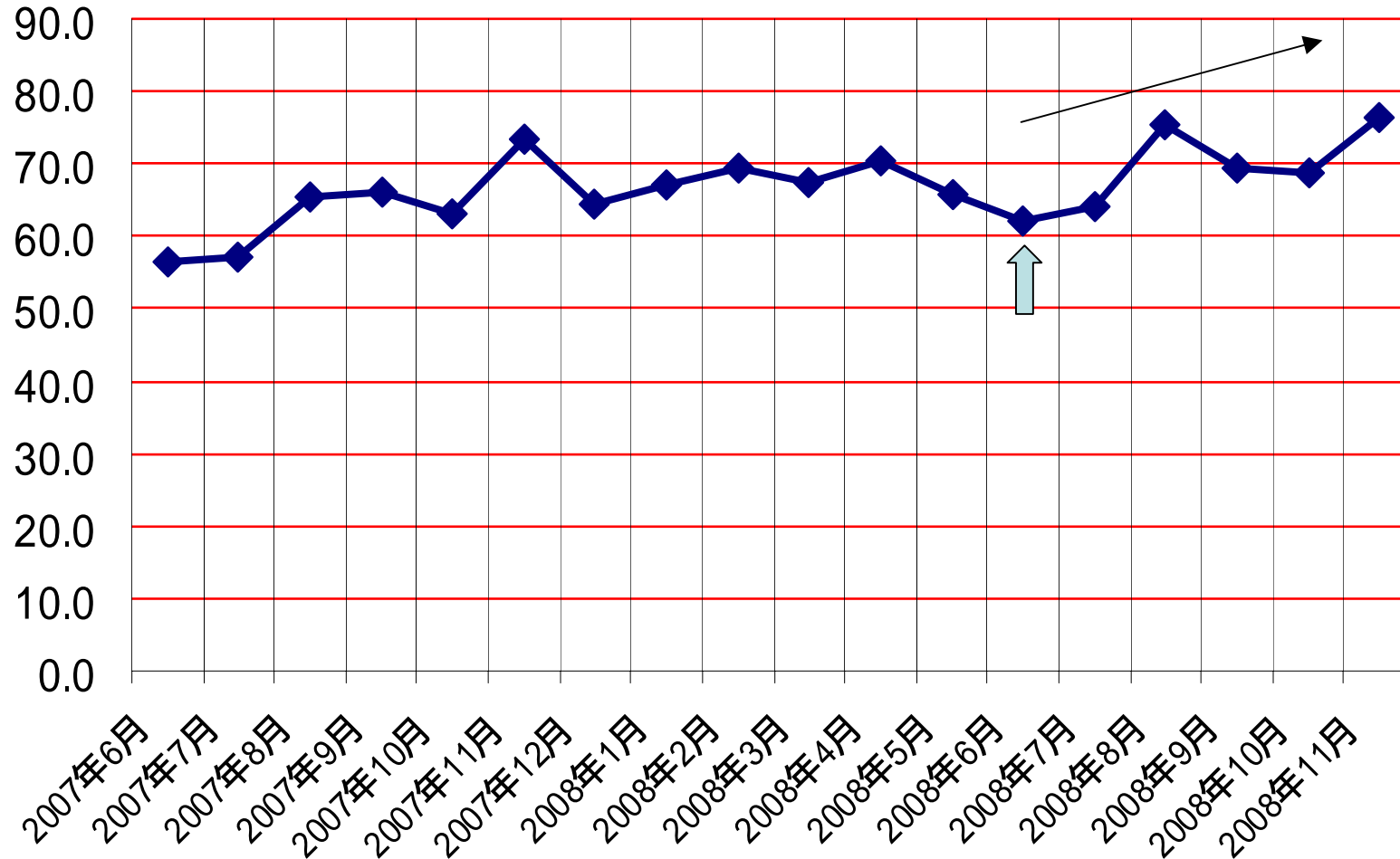
2008年5月より新NAPSの運用開始済み

今期中に修正等を終了し、来期初からの完全運用を目指す

生産効率30%アップを目指す

5. 一日当たり生産高の推移

単位:百万円



一日当たり生産高(生産能力)は、2008年5月新NAPS導入直後を底として徐々に上向いている

6. 中長期的な経営戦略～

船舶向け需要動向に即した生産・販売体制の整備

バタフライ弁および遠隔操作装置(リモコン)の生産体制を整備し納期遵守とシェア確保を図り、且つ生産性向上により効率的な生産を行うために設備投資を行う。

LNG船用超低温バタフライ弁を07/12月から09/7月までに6隻納入予定。(内4隻納入済)エネルギーのLNG化を背景として2013年以降LNG船の増加が予想されるが、上記6隻の実績を武器として、受注拡大を図る。

陸上向け需要動向に即した生産・販売体制の整備

コンバインドサイクル発電プラントの建設を背景にガスタービンの需要も堅調に推移しており、ガスタービン向け大型高温高圧バルブの生産設備を整備したので、更に受注拡大を図る。

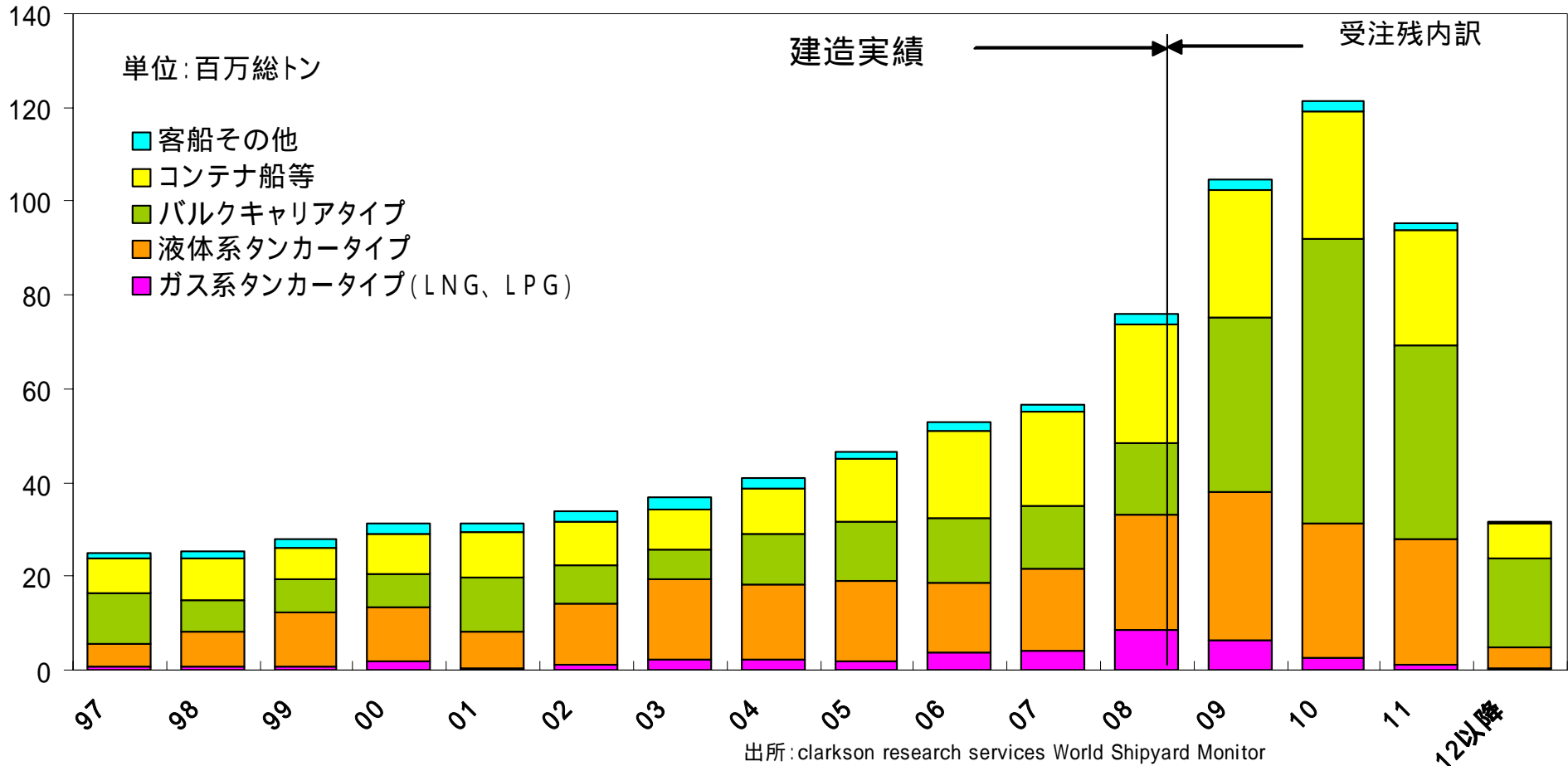
生産効率の改善

新NAPSをフル活用し、生産効率の改善による利益率のアップを図る。

7. 船用分野市場動向～納期別・船種別手持工事量(08年11月現在)

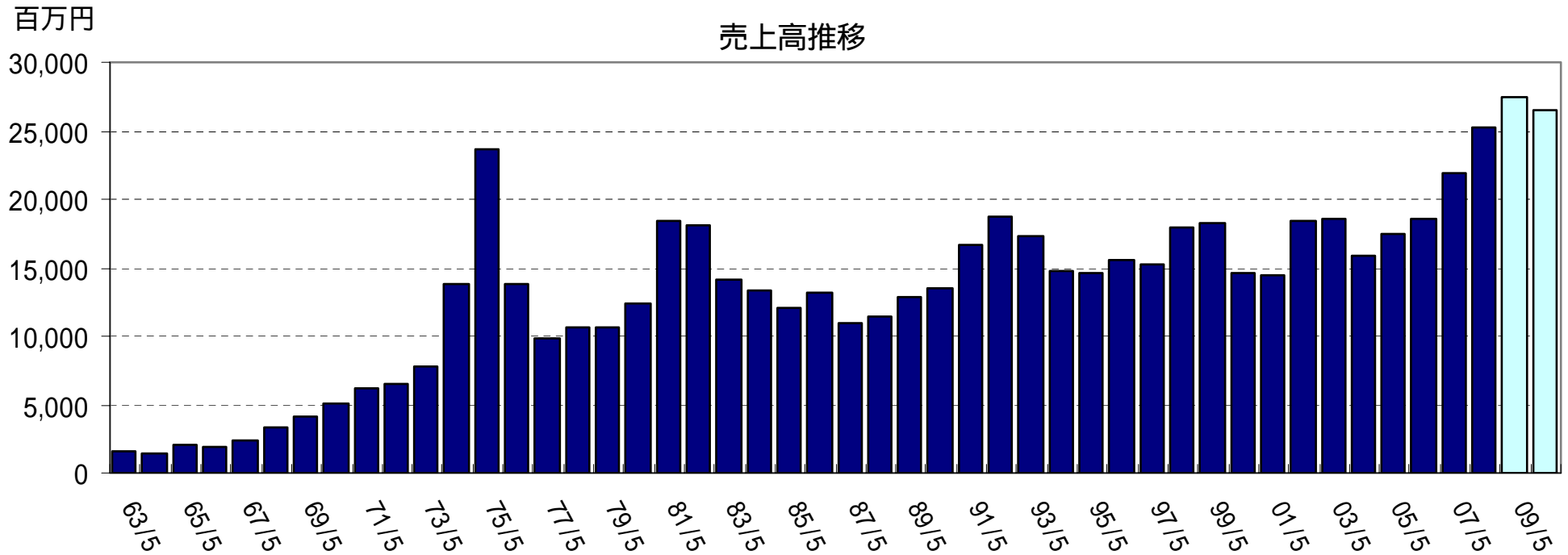


世界の造船手持工事量は以下のとおりであるが足元の環境が急変しているため今後の成り行きには要注意



8. まとめ

今まで受注環境に恵まれてきたが、ここもと状況が激変しており先行き不透明なので、新NAPS(生産管理システム)の利用の高度化により、納期・品質はもとよりコストの削減により競争力を強化し、業績の維持向上を図る。





. コーポレート・データ



単位：百万円、%、円

	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5	09/5E
売上高	15,838	17,518	18,629	21,897	25,235	27,500
営業利益	1,126	1,658	1,568	2,213	2,394	2,700
営業利益率	7.1	9.5	8.4	10.1	9.5	9.8
経常利益	1,127	1,651	1,589	2,248	2,424	2,700
経常利益率	7.1	9.4	8.5	10.3	9.6	9.8
当期利益	575	916	927	1,288	1,262	1,235
当期利益率	3.6	5.2	5.0	5.9	5.0	4.5
総資産	19,211	20,101	20,199	23,384	24,184	
株主資本	12,356	12,967	13,161	15,280	15,918	
株主資本比率	64.3	64.5	65.2	65.3	65.8	
株主資本利益率	4.7	7.1	7.0	8.4	7.9	
1株当たり利益	28.6	47.6	51.1	70.4	65.9	64.5
1株当たり配当金	14.0	25.0	25.0	30.0	30.0	30.0



陸船別売上	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5	09/5E
陸用売上	3,296	3,808	4,609	4,955	5,554	5,700
船用売上	12,401	13,587	13,896	16,819	19,557	21,676
その他	140	124	124	124	124	124
合計	15,838	17,518	18,629	21,897	25,235	27,500

品種別売上	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5	09/5E
自動調節弁	6,185	7,253	7,976	8,927	9,316	9,350
バタフライ弁	4,835	5,149	5,311	6,532	8,086	9,726
遠隔操作装置	4,678	4,992	5,219	6,314	7,709	8,300
その他	140	124	124	124	124	124
合計	15,838	17,518	18,629	21,897	25,235	27,500

生産	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5	09/5E
自動調節弁	6,193	7,317	8,011	8,896	9,273	9,350
バタフライ弁	4,844	5,189	5,339	6,492	8,048	9,726
遠隔操作装置	4,683	5,039	5,254	6,284	7,659	8,300
合計	15,721	17,545	18,604	21,672	24,980	27,376

受注	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5	09/5E
自動調節弁	7,023	8,803	8,007	9,404	10,012	10,000
バタフライ弁	5,089	6,801	5,936	10,921	10,012	8,000
遠隔操作装置	5,903	6,054	5,781	8,627	9,473	8,500
合計	18,015	21,658	19,725	28,952	29,497	26,500

受注残	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5	09/5E
自動調節弁	3,388	4,937	4,968	5,445	6,141	6,791
バタフライ弁	2,903	4,555	5,180	9,569	11,495	9,769
遠隔操作装置	4,137	5,199	5,762	8,074	9,838	10,038
合計	10,427	14,690	15,910	23,088	27,474	26,598